

南芦屋浜地区小学校建設に係る市民意見交換会 質疑応答要旨

【日時】H27. 2. 5(木) 19:00~20:40 【場所】芦屋浜センタービル3階大会議室

参加人数80人(内訳：住民 71人, 市議会議員 8人, 記者 1人)

No.	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
1	<p>今後の学校建設までの決定のプロセスについて教えてください。判断は市長専決事項なのか、それとも市議会の議決事項なのか、それとも教育委員会が決めるのか、その点について教えてください。</p>	<p>決定のプロセスにつきましては、一応新設する方向で今、進めております。市民の皆様方の御意見を頂戴するという事で、2日ときょうの5日、意見交換会を開催させていただいております。いろいろな御意見をいただく中で、最終的に決定をするということです。まず、学校の設置につきましては、教育委員会の権限事項になっておりますので、教育委員会で決定をすることが必要です。学校は、設置者としては芦屋市が設置者となりますので、市としても設置をする決定をする形になります。議会等につきましては、予算等を御議決いただかないといけませんし、土地は用地取得になります。現在、県企業庁の所有物ですので、土地の譲渡を受けないといけない形になります。そういう場面での契約案件も議決が必要です。もちろん建てるに当たりまして、建設工事も契約案件ですから議決をいただかないといけない形になります。さらに、学校の設置管理条例の条例改正も必要になりますから、このあたり議会の御議決を賜らないといけません。</p>
2	<p>1月27日付で文部科学省の公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きの策定について通知が出ておまして、この中で、家庭及び地域社会における子どもの社会性、育成機能の低下や少子化の進展が中長期的に継続することが見込まれること等の背景として、学校の小規模化に伴う教育上の諸課題がこれまで以上に顕在化することが懸念されますと記されております。今回、校区割りを見ますと、分かれた瞬間、潮見小学校が一気に児童数が減ります。これは小規模化に当たるのではないかと思います。諸課題につきましては、教育行政に携わっておられる方々のほうがよく御存じかと思いますが、こうまでして小規模化して、そこまで学校を建設することの理由として、どういうメリットがあるのか教えてください。</p>	<p>小規模校の件に関しましては、文部科学省から示された小・中学校の統廃合の基準によりますと、小学校は、9から11学級規模となった場合は、教育環境のあり方を検討する必要があるとされ、さらに7、8学級規模となった場合は、学校統合の適否も含めて、今後の教育環境のあり方について検討する必要があるとされております。さらに6学級以下となる場合は、統廃合等について速やかに検討することが必要とされております。小規模校となっても統廃合しないで学校を維持する場合は、小規模校のメリットを最大限生かす方策や、逆に小規模校のデメリットの解消策、緩和策について積極的に検討を実施する必要があるとされています。</p>

南芦屋浜地区小学校建設に係る市民意見交換会 質疑応答要旨

【日時】H27. 2. 5(木) 19:00~20:40

【場所】芦屋浜センタービル3階大会議室

参加人数80人(内訳：住民 71人, 市議会議員 8人, 記者 1人)

No.	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
3	<p>安心・安全な通学路の確保と記されております。具体的にどういことを示されているのでしょうか。そもそも危険なのであれば平成31年まで待たずに、何かしら対策が必要なのではないでしょうか。</p> <p>学校建設が果たして安心・安全な通学路の確保の対策としてふさわしいものなのかどうか。</p>	<p>小学校建設のメリットですが、もちろん安全・安心につきましても重要なポイントです。そもそも南芦屋浜は、当初の計画段階から計画戸数、計画人口から小学校、幼稚園が必要であると判断しておりまして、当初から一定規模の用地について確保してもらいたいと市から要望させていただいて、現在まで企業庁で確保してもらっております。</p> <p>そういう面で、そもそもまちづくりの観点から学校は必要であったということですが、南芦屋浜地区の人口が、入居等も含めましてなかなか見込めていなかったため、建設するという意思決定をする時期を逸してしまった形で現在に至っております。</p> <p>今後、涼風町の入居も本格的になるかと思えます。涼風町の南の端から潮見小学校まで歩きますと、大人で歩いても30分ぐらいの時間がかかってしまいます。当然小学校低学年の方になりますと時間が非常に長くなります。</p> <p>もともと学校を建設する計画になっておりますので、現在、南芦屋浜地区のお子さんにつきましては、あゆみ橋を渡って潮見小学校に通っておりますが、この地区のお子さんが、全てあゆみ橋を渡って潮見小学校に通う想定ではございません。あゆみ橋につきましては、現在でもかなりのお子さんが登下校されておられまして、朝の登校時にはかなり混雑しております。特に、雨風が強い場合はかなり危険な状況に現在でもなっております。</p> <p>ピーク時、南芦屋浜だけで600人ぐらいになりますので、それだけのお子さんがあゆみ橋を渡るとなると、非常に危ないというのがございます。</p> <p>また、まちづくりの観点で、どこの市にも限らず同じことかなと思えますが、小学校を地域の核としてコミュニティが発展をしております。やはり地域に小学校なり学校がありまして、地域の中で子どもたちが見守られながら学び育っていくことで、地域のコミュニティが図られております。</p> <p>シーサイド地区と南芦屋浜地区、広さ的にはほぼ同じぐらいです。シーサイド地区には2つの小学校、中学校、幼稚園がありますが、南芦屋浜地区は現在のところない状況です。やはり、そういった観点から学校はつくる必要があると考えております。</p> <p>安全対策で、あゆみ橋等の問題がございますし、通学時間も長くなります。できるだけ早く解消すべきと思っておりますので、できるだけ早く小学校を建設したいと考えております。もちろん下校時の見守りにつきましては、青パト等もしておりまして、下校時の見守りもしております。その辺は地域の皆様方の見守りも、今後より必要になるのではないかと考えております。</p>

南芦屋浜地区小学校建設に係る市民意見交換会 質疑応答要旨

【日時】H27. 2. 5(木) 19:00~20:40 【場所】芦屋浜センタービル3階大会議室

参加人数80人(内訳 : 住民 71人, 市議会議員 8人, 記者 1人)

No.	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
4	<p>児童数の推計上、平成31年がピークで、南芦屋浜は、その後じわじわ下がっていて、41年ごろには300人で、15年後にはまた少なくなっていくのかなと。あくまでも推計ですので、またこれはふえるような努力、施策はいろいろあるかと思えます。</p> <p>資料を見ましたところ、つくるなら今回のチャンスを逃すともうないのかなという感じがあります。いろいろな問題があるのでしたら、早く進めていただいて、これがおくれることがないように感じました。</p> <p>アイデアですけれども、意見ということで聞いていただきたいです。小学校の運営が、一体運営という形もアイデアとしてはあるのかな。よく3空港一体運営という言葉がありますが、2校なのか3校なのか、一体運営というアイデアがあるかと思えます。具体的に何かわからないですが、職員の方が兼務されるのか、あるいは校長先生も1人でいいのか、あるいは兼務ができる形があるのかなというのがアイデアとしてあります。人事面で、いろいろ法律面とかあるのかもわかりませんが、一体運営で潮見小学校を南芦屋浜小学校、あるいは大学のキャンパスのようなイメージがあらうかと思えますので、こういうアイデアを参考にさせていただければというところでございます。</p>	<p>今、教育委員会は小・中で連携をしております、当地区は潮見中学校が核になります。潮見中学校はことしの10月から給食も始まりすし、給食棟も新たにできます。そういうものを核として、3校が中学校で1校になるわけですから、6年生が年に1回は集まるとか、さまざまな工夫もできるのではないのでしょうか。</p>
5	<p>添付の地図の一番右方の端に打出浜小学校があります。これは校区上どういう扱いになっているのですか。</p>	<p>打出浜小学校は、校区として、大東町、南宮町、春日町、打出町です。校区は臨港線よりも北側の、2号線より南の地区の東側の地区になります。ですから、シーサイドのお子さんは、打出浜小学校の校区ではございません。</p>

南芦屋浜地区小学校建設に係る市民意見交換会 質疑応答要旨

【日時】H27. 2. 5(木) 19:00~20:40 【場所】芦屋浜センタービル3階大会議室

参加人数80人(内訳 : 住民 71人, 市議会議員 8人, 記者 1人)

No.	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
6	<p>芦屋市は財政難ではないのでしょうか。財政難が理由で、ぜひ残してほしいと言っていた浜風幼稚園が、廃園が決定されたと聞いております。今回、小学校は約50億円かけてつくるとなっております。財政難はどこへ行ったのでしょうか。</p> <p>きょう配っていただいた資料、平成31年から平成40年までは12学級以上となっておりますが、50億円かけてつくっても、平成41年から、要はつくって11年目からは単学級になっていて、廃校を検討すべき水準の6クラスになるのが16年後です。これでは、今、潮見、浜風、南芦屋浜の3校を維持しますと言っておられますけど、維持できないのではないのでしょうか。逆に、それでも維持しますと言うのであれば、何年間維持されるおつもりでしょうか。向こう10年、20年という単位で考えていただきたいと思います。</p> <p>10年間、確かに児童数が潮見小学校よりも多いことはそうだと思いますが、この間、確かに涼風町の方が、子どもを潮見小まで通わせるのは遠いと思います。この間だけでも例えば何か対策、スクールバスのようなものであるとか、集団登下校をされていると思いますけど、そういう安全面に配慮した、学校を新設することではない方法は考えられないのでしょうか。財政の観点から、必要性の観点から、そして10年間の対策について総合的にお答えいただきたいと思います。</p>	<p>まず、誤解のないようにお願いしたいのですが、浜風幼稚園を廃園して認定こども園という部分につきましても、財政難という理由で浜風幼稚園を廃園したのではないと御理解いただきたいと思っております。</p> <p>浜風幼稚園を幼稚園のままに残す場合は、幼稚園ニーズのお子さんしか受け入れることができません。廃園して認定こども園にしますと、より幅広いお子さんを受け入れることが可能な施設になるので、少子化対策等も含めまして、そのように進めさせていただいていると御理解いただきたいと思っております。</p> <p>財政の問題につきまして、検討委員会の中で検討をいたしました。もちろん財政が決して好転して余裕があるわけではありません。財政への思いもありますが、やはりまちづくりの観点から言いますと、南芦屋浜地区の中に学校をつくり、そういった中で地域のコミュニティが形成されていくことがありますので、学校は必要であると、安全・安心面でもそうです。</p> <p>検討委員会の中でも、スクールバスにつきまして意見が出ております。しかしながらスクールバスになりますと、一どきにかなりの人数になりますので、バスを走らせても何台も一度に出さないといけないという問題もあります。地域コミュニティの核となる学校をつくることのほうが非常に意義が大きいと考えております。</p> <p>15年後には、単学級になってしまうという部分ですが、先ほど申し上げましたように文部科学省からの基準がございます。しかしながら、そうなったから必ず統廃合をすべきということでは決してありません。そのときの状況によって、統廃合を検討する上では、地域住民、保護者の方々も丁寧な意見交換、そういったものを図りながら合意形成を得なければならぬと基準の手引きの中にも記載されております。小学校の統廃合につきまして、そういったことが必要になるのではないかと考えておりますので、3校そのまま、できるだけ存続をさせたいと考えております。</p> <p>もちろんこれから10年、20年先、人口の推移も変わってくるかと思っておりますし、この予測のとおりには決してならないであろうと予測されていくところですので、南芦屋浜につきましても、県企業庁の計画自体も少し遅れぎみですので、ピークとか減少の時期もずれていく可能性が非常に高いと考えております。</p> <p>いずれにしましても、新設に伴っての統廃合はございませんし、新設校も含めまして3校につきましても、小学校としてできるだけ維持をしていきたいと考えております。</p> <p>潮見小学校なり浜風小学校も、既に建設されてからかなりの年数がたっておりますので、将来的に建物を含めて小学校としての存続がどうなのかという問題はありますが、それは20年も30年も先の話になると考えております。</p>
7	<p>前回の説明会のときに、住民の方から南芦屋浜小学校はできるものと思っていいいですねという質問があったときに、そう思ってもらっていいと思いますとお答えされたと思うのです。基本的にこの会は住民と意見交換をして、最終的にいろいろ話し合いを経ての最終決定だと思います。よく芦屋市にありがちなのです。とりあえず説明会しましたみたいなのはやめてください。</p>	

南芦屋浜地区小学校建設に係る市民意見交換会 質疑応答要旨

【日時】H27. 2. 5(木) 19:00~20:40

【場所】芦屋浜センタービル3階大会議室

参加人数80人(内訳 : 住民 71人, 市議会議員 8人, 記者 1人)

No.	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
8	<p>南芦屋浜小学校ができるにあたり、統廃合しないと話が出ていますが。マスコミの中とかでも統廃合の話がずっと出ていたのです。それがいつ、学校ができてでも統廃合しないと意思決定されたのですか。</p>	<p>検討委員会としては、最終的に11月28日に報告書を作成したと思います。それを受けまして、1月9日に教育委員会を開きまして、そこで検討委員会からの報告、市長からの報告を受けて、教育委員会として新設校を新設するが統廃合はしない方向で進めていきたいと思いますということで確認をいたしました。</p> <p>ただ、最終決定としましては、住民の方々の御意見を聞いた上で、教育委員会として最終決定をしようという経過です。</p>
9	<p>本当に議論するのであれば、デメリットの話も皆さんに伝えるべきだと思います。</p> <p>今回の建設費、例えば小学校だけの建設をとっても、50億円も70億円もするお金がかかります。つくって10年も経ったら、標準学級数、要は1学年のうちに2クラスか3クラス掛ける6で12から18が標準学級数です。50億円も70億円もするお金をかけて、10年後には標準学級数を割ってしまいます。そうなると統廃合の黄色信号がつけます。さらに5年がたつと単学級になります、6と書いていますから。三条小学校が実際に単学級になったとき、芦屋市は潰しましたよね。例えば15年が経ったときに、50億円も70億円もかかった小学校を潰すつもりですかと聞きたいのです。</p> <p>例えば人数が減っても、少子化を生かした教育をつくると言いますが、芦屋市全体を見渡して、今後25年の人口推移を見ても、標準学級数を割るような小学校はないです。唯一朝日ヶ丘小学校が20年後ちょっと怪しいかなという感じですが。そう見たとき、芦屋市全体で、南芦屋浜とシーサイド地区の3校で標準学級数が割れている一方で、ほかのところは割れていないと。そのときに、本当に3校存続させるコンセンサスを芦屋市全体からとれる自信があるのかすごく不安です。データも自分たちに都合のいいデータだけを出すのではなくて、報告書にはいろいろなデータが出ているではないですか。例えば小学校ができないとき、今後25年間、標準学級数を割らないのです。安定した小学校の運営ができるのです。ただ、小学校が平成31年にできることによって、その時点ですぐに標準学級数が割れ潮見小学校で黄色信号がとれるのです。</p> <p>そうなると、つくったはいいいけど、3校とも不安定な状態になりますよね。不安定な状態になって、廃校しようとしても、先ほどの説明にあったように、小学校はコミュニティの核なのです。できあがった核を今後潰していくとなると、我々住民にとってすごいダメージです。そこまできちんと考えて、自信を持って3校維持できるという、どこにその自信があるのかすごく不安ですけども。どうですか。</p>	

南芦屋浜地区小学校建設に係る市民意見交換会 質疑応答要旨

【日時】H27. 2. 5(木) 19:00~20:40 【場所】 芦屋浜センタービル3階大会議室

参加人数80人(内訳 : 住民 71人, 市議会議員 8人, 記者 1人)

No.	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
10	<p>昨年、教育委員長から芦屋市長に対して、南芦屋浜教育施設用地について報告書を上げています。これを読むと、「南芦屋浜の小学校の増加が著しくなったのはここ数年のことであり、この間逆にシーサイド地区は少子高齢化が進み、児童数は減少を続けており、既存の幼稚園、小学校だけで十分受け入れ可能な状況であり」と書いてあります。</p> <p>先ほどの説明では、潮見小学校は満杯で動かせない、仮設校舎も建てないといけないぐらいだったけど、教育委員長は、今の既存の施設で十分受け入れ可能とされているんですけど、これはどちらが正しいですか。</p> <p>ここには、伸びても十分受け入れ可能な状態だから、小学校新設の意思決定に至っておりませんと書いていますよ。将来を見越して十分受け入れ可能だと書いています。その先を読むと、「新設した場合、既存の校区を調整しても、10年先には既存の小学校含め複数学年で単学級という事態を招き、いずれ統廃合せざるの必然である」と書いてあります。必然というのは必ず起こることです。10年後には、新設したときには、統廃合の問題が必ず出てきますと教育委員会の委員長が上げているのではないですか。</p> <p>それに対して報告があつて、芦屋市長も12月の段階で、新設したときに、3校のあり方を今後も教育委員会で検討しなさいという話し方をしていないですか。こういう状態で、何で急に1月の段階になって、新設するし、統廃合はしないし、どういうロジックでここに至るのかさっぱり見当がつかないです。</p>	<p>教育委員長の市長宛ての文書を読まれたのですが、今までは十分に受け入れができましたということであつて、将来も受け入れが十分だというわけではありません。そこは御理解ください。</p> <p>教育委員長のところから申し上げますと、教育委員会として、当時はそのように見ていました。</p> <p>検討委員会の中で、人口の予測とかも含めて検討し、結果的に、児童数の予測ですとか、既存の潮見小学校の教室数をどれぐらい確保できるのか実際に見ているわけです。</p> <p>そうしましたら、実際に児童数としては25学級には絶対なると見えています。教室数が実際に足りるのかどうか、ランチルームとか学習室、そのほかに転用している教室が幾つかありますが、全て普通教室に戻さないといけません。普通教室に戻せば、何とか収容はできます。</p> <p>そうなりますと、逆に今まで、算数ですと児童さんの習熟度に応じましてクラスを割って学習をしていますが、そういったこともできなくなります。筒いっばい今の教室を使わないと収容できないこととなり、今、やっている学習とかができなくなり、非常に窮屈な学校になってしまいます。それを回避するとなりましたら、仮設の校舎を建てないといけないといった問題が新たに生じてくることとなります。</p> <p>いろいろなことも含めまして学校を建てるという判断をしております。建てるとなりましたら、例えば学校としてできるだけ存続する、多額な費用をかけますので、学校として存続させていくのが普通だと思います。</p> <p>おっしゃるように、本当に子どもが少なくなってしまうと、例えば全学年が1学級で、それも10人とかになっちゃったら、学校そのものとしてどうなのかいというのがありますから、その段階では、確かに統廃合について真剣に考えないといけませんし、そういった場合に、学校ではなくて、学校以外のものにすぐ転用できる建物、そういったことも考える必要があるのではないかと考えています。</p>
11	<p>統廃合もするということですか。</p>	<p>統廃合を行うということではなくて、もちろんどの小学校につきましても、将来的に絶対統廃合しないと、ここで完全に宣言することはないと思います。20年先、30年先どうなっているかわからないです。そのときは、どうだということはあると思います。できる限り小学校は維持していき、もし小学校として維持できなくなった場合でも、それ以外の用途で利用することを考えていくのが市の役目です。</p> <p>多額の費用をかけるわけですから、小学校が、統廃合だから潰して終わりではなくて、小学校として利用ができなくなった場合は、それ以外のものに利活用する方策、例えばグラウンドや体育館は残るわけですから、体育設備を例えば老人保健、健康増進に使っていくこともできると思っています。その辺は今後考えていくべきものだと思います。統廃合を前提にすることではないです。</p>

南芦屋浜地区小学校建設に係る市民意見交換会 質疑応答要旨

【日時】H27. 2. 5(木) 19:00~20:40 【場所】芦屋浜センタービル3階大会議室

参加人数80人(内訳 : 住民 71人, 市議会議員 8人, 記者 1人)

No.	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
12	<p>今さら感があります。何で今さら建てるのかと。平成8年から9年に、企業庁から芦屋市に小学校をつくりませんか、土地の売却の話があったと思います。あのときにすぐ補助金も出ていたのに、あのタイミングだったのです。それを芦屋市は逃してしまったのです。</p> <p>今さらになってつくって、5年後か10年後にもう先が見えているのを、50億円も70億円も出して、これつくることによって、今、2校、中学校の建てかえを考えているのも延期せざるを得ない可能性があるかと報告書に書いてあるではないですか。既存の小学校は、トイレも汚かったり、保護者の人も改築してほしいと言っても、なかなか改築工事が進まないです。そんなお金があるのだったら、そういうことも考えないといけないし。</p> <p>現に、南芦屋浜から潮見に通っているお子さんがたくさんいます。今の1年生2年生の子はすごくピークです。小学校ができるのは5年も先の話ではないですか。そこに多額のお金かけるのではなくて、今すぐ芦屋市の助けが必要ですね。スクールバスとかも、もう一回しっかり検討してほしいのもありますが、学校つくるだけが解決策ではないと思います。今、現に困っている子どもたちに、今すぐ手を差し伸べてあげてほしいです。</p> <p>子どもを持つ親として、近くに小学校をつくってあげたい気持ちはわかります。あそこをつくることによって、確実に3校が将来不安定な状態になるのは目に見えているのです。教育委員長が言っている「統廃合は、今後新しくつくったら、可能性としてはあると、必然である」というのはあながち間違っていないのかなと思います。今、困っている子たちがいるので、それに対して学校をつくるのではなくて、今、困っている人々を助ける策を、早急に芦屋市に頑張ってもらって対策してほしいです。</p>	<p>登下校の問題につきましては、青色パトロールもしておりますし、今後ともさらに地域の皆様方には、見守り活動といった部分につきまして、御協力なりをお願いしないといけないと考えています。とにかく、できるだけ早く建設をしていくことが必要だと考えております。</p>
13	<p>建てるお金があるなら、スクールバス出すぐらい知れたものではないですか。</p>	<p>今のところスクールバス等は考えておりません。きょう御意見なりをお伺いしましたので、それも含めてどうするのかを市として判断しないとイケないことになるのかなと思います。</p>
14	<p>一番ピークの子どもたちが入学するときは5年生か6年生です。だから5年後なんて遅いです。</p>	<p>建てるなら早く建てよという申し出あったと思いますので、教育委員会としても聞かせていただきました。当然、今ある子たちがいいという思いは持っておりません。</p>
15	<p>小学校の児童数の推計を見て、これが現実です。どれぐらい正しいかどうかわかりませんが、今、入居しておられる方が、小学校は6年制ですから、卒業したら中学に行くと、1人のお母さんが昔みたいに何人も子どもを産みませんから、そのうちからは小学生がいなくなるという環境だと思っております。</p> <p>そういうところで、全市のバランスでどうなるか。市は頑張ってもらって統廃合しないとおっしゃっていますが、今までの市のやり方見ても、国の方策にはなかなか反抗できないものがあるみたいですから、どれぐらい踏ん張っていただけるのかという心配もあります。</p>	

南芦屋浜地区小学校建設に係る市民意見交換会 質疑応答要旨

【日時】H27. 2. 5(木) 19:00~20:40 【場所】芦屋浜センタービル3階大会議室

参加人数80人(内訳 : 住民 71人, 市議会議員 8人, 記者 1人)

No.	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
16	<p>建設予定の土地は、南海トラフの地震があつて津波が来たときには、真っ先に襲われる土地です。ここに小学校とか幼稚園の幼い子どもたちを収容する施設を建てていいのかと、非常に強く思います。</p> <p>天災のことはわかりませんが、最悪の場合を考えると、誰が見ても、潮見小学校が安全かと言ったら、もちろん安全ではないですが、比べれば全く違います。天災が来るのが下校の後だという保証も何もないわけですから、そういうふうになったときにどういふふうになるのか。もともとこれで見ると、ここはそういう建物を建てる土地ではないのではないかという気がします。どういふふうにお考えでしょうか。</p> <p>そのプランができるときは、今みたいに地震等々について議論されてなかったのではないかと思います。私たちが経験しないとなかなかわからないところがあつて、3・11以降、素人ながら、地震はどうだとか、それによつた津波はどうだとか、ここで起きたらどうなのだろうかを気にします。若いお母さんたちに安全を保証してやるのは基本的なことではないかと思います。</p> <p>今、全部一緒だつておっしゃいました、一番右側は片一方が芦屋川の河口に面していますから、もし津波が来れば川をさかのぼつて、ここが一番角っこですから、真っ先に津波が来るところです。そんなことを考えると大変怖い気がしますので、今のお答えでは、私としては納得がいけないです。</p>	<p>南芦屋浜のプランにおける土地利用の配置は、企業庁と芦屋市の協議の中で、ここに何を建てようと大体決めていっております。教育施設用地の位置は、昭和63年当時からの位置となっております。</p> <p>津波の心配は、確かに海に一番近いところで、見た感じそういうふうに見えるかも知れませんが、南芦屋浜の埋め立ての土地の造成は、ほぼ同じ高さで護岸で守られております。そういう意味では、兵庫県が想定します3.7メートルに対して5メートルの地盤高があることで、一定安心できると考えてございます。</p> <p>たしかに昭和63年当時に、津波がこれだけの高さで来るのを想定はしてなかったと思います。ただ、先ほど申し上げましたのは、東日本大震災の津波を受けて、国の中央防災会議が津波の高さを想定しています。阪神間におきましては、南海トラフ地震が来て、約2時間後にここへ到達するであろうという予測がございまして、津波高が3.7メートルで予想されておりますし、この護岸高が5メートルです。想定外については誰も言うことはできません。そういった意味では津波に対する、避難する時間も少しありますし、想定どおりであれば、この時間までの浸水はないと考えてございます。</p> <p>なおかつ、仮に小学校を建てるとすれば、当然3階建てぐらいにはなるかと思つたので、高いところにも避難できるような活用もできるかと考えてございまして、その辺は御理解をお願いいたします。</p>

南芦屋浜地区小学校建設に係る市民意見交換会 質疑応答要旨

【日時】H27. 2. 5(木) 19:00~20:40 【場所】 芦屋浜センタービル3階大会議室

参加人数80人(内訳 : 住民 71人, 市議会議員 8人, 記者 1人)

No.	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
17	<p>小学校を南芦屋浜につくことを最初に計画した時点で、つらざるを得ないというか、私はこういう話以前に建てるものだと思っていました。</p> <p>ところが、平成十何年の集会所トークのときに、市長に聞くと、人口面から、あそこには小学校建てないつもりですと聞いたときに、こういうものかなと思いました。今、突然建てるという話が出ました。ですから、建てると言っているから建てるのは当たり前のことだと思っていました。</p> <p>それはそれでいいですが、ただ、費用が50億円、70億円かかる費用対効果を考えてほしい。あと、南芦屋浜に入居した人が全部で5,300人ぐらいかな。あと増えたとしても8,000人を切ることを考えると、この小学生の数字が本当かなと思います。結局子どもをつくる世帯があそこにどれだけ来るか考えると、この数字にどうもまやかashiを感じます。そのあたりが本当に大丈夫かということです。</p>	<p>人口につきましては、南芦屋浜地区の年齢別の人口の割合を見ますと、おっしゃるように南芦屋浜地区の人口が、平成26年4月1日現在で5,200人ぐらいですか。このうち、涼風町の就学の子どもの割合は、その人口に対しまして8%から9%です。この就学児童は6歳から11歳、ところがゼロ歳から5歳、今後小学校に進むであろうお子さん方の割合は18%です。多分入居されている世帯の構成はそういうことだと思いますが、これからまだお子さんを出産されて、育てていかれる世帯が入居してきている状況なのかなと思っております。人口予測はそういったことも含めて予測しております。</p> <p>この人口予測は平成25年3月1日現在の人口を基礎にしまして、平成21年から24年の間の各年齢の変化率と、平成22年に国勢調査が行われておりますが、この国勢調査のときのお母さんの年齢が何歳で、出産がどれぐらいあるのか、女性の出生率も基礎にして、それから南芦屋浜につきましては、県企業庁が出しております、まちの分譲の販売計画の戸数が、どういう時期に何戸で、最終的に何戸になるのか、世帯当たりの人数が何人といった面も含めて人口予測を出しております。平成25年3月の段階の予測の人口ですから、もちろん誤差が生じますし、変化要因も今後出てくるかと思いますが、当然つくられた数字とかでは決してありません。</p> <p>そういった人口予測を立てる中で、やはり小学校は必要であろうと。もちろん当初から必要であると考えていた部分ですが、人口を見ながら、早急に建てる必要があると判断をしているところですし、文部科学省の手引きの中でも小学校の統廃合につきましては、統廃合をする検討の中には、地域住民、保護者との丁寧な対話が必要であり、なおかつ合意形成を得た上でないと、となっておりまして。統廃合を本当にするに当たりまして、地域住民の皆様方と十分にお話をしてからにやるのではないかと考えております。</p>
18	<p>建てると言っているのに、何でこういう話をしているのか。</p>	
19	<p>潮見とか浜風をなくすにしても、国と県と芦屋市でつくった学校をそう簡単に、単学級になったからって減らせるものではないと思うのです。その辺の関係を説明してもらいたいです。</p>	
20	<p>市長は、何で決まっていなくて建てるかと新聞発表するのですか。何かの意図があるのと違うかなとどうしても勘ぐってしまうのです。推測で言いますと、企業庁と県、国が、今、建てると言わないとどうしようもなく、今まで建てたいということを、潰すにしても潰せないからこういう話を持ってきた印象を受けるのです。教育委員会さんも突然変わったのは、教育のことではなくて、そちらのほうと趣旨が合っているような気がするもので、その辺はそういうことではないという説明をお願いします。</p>	<p>新聞発表につきましては、市長が記者発表したことはそういうことではなくて、市議会の中で南芦屋浜小学校の建設について一般質問がありましたので、それに対して、つくることを考えているという答弁をさせてもらったのが記事になっておりまして、市長が積極的に学校を建てるという意思表示をしたということではありません。</p>

南芦屋浜地区小学校建設に係る市民意見交換会 質疑応答要旨

【日時】H27. 2. 5(木) 19:00~20:40

【場所】芦屋浜センタービル3階大会議室

参加人数80人(内訳：住民 71人, 市議会議員 8人, 記者 1人)

No.	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
21	<p>三条小学校が潰れたときも、きちんと住民の方の合意を得られたのですか。</p>	<p>三条小学校につきましては、単学級に近い状況が何年間か続いた状況があり、学校教育審議会、地域の住民の方々、PTAの方々も含めて構成される審議会で審議をしていただきました。確かに当時の人口予測では減っていくであろうと見ており、最終的に廃校を決定したことになります。</p> <p>しかしながら人口予測につきましては、そのときの人口予測に反してふえていったともございます。そういった面でも、人口予測については慎重に見る必要があるのではないかと考えています。ですから、現在の人口予測がこのような形になっていますが、このとおりになるとも限りませんし、十分に見ていかなければならないところだと思います。そういったところを見据えた上で、どうするかを決めるべきと考えています。</p>
22	<p>この会をするに当たって、こんな大事なことは私たちの代表の人たちにいろいろ考えていただいて、何かの中で検討していただいて、話を持ってくる、こういうふうになったよと決めていただければ、私たちもある程度の理解ができると思います。 議会でよく皆さんに検討していただいて、こんな重要な問題を深く考えていってから決めていただきたいと思います。</p>	
23	<p>教育長にお願いがあります。つくるとして5年間、空白のときがあります。その時間に、私たち小学校で見守り隊をやっております。あの橋の上に7時50分から8時5分の15分間の間に児童が通ります。その間に自転車車が北側から15台、南側から30台ぐらいが毎日行き来します。子どもとの接触は、余り大きなものは聞いたことはありませんが、自転車同士の事故がここ最近で2件起きております。ちょっとけがもされました。そういう事故に巻き込まれる恐れがあります。南のほうの人のことを思えば、早く学校をつくってあげたいと思います。何の負担もなければつくってあげてください。それまでに、この子どもたちの危険をどうにか回避していただきたいので、早々に地域課なりに行っていただいて、警察官がああ橋の上に立ち、自転車の指導をしていただけるように、そちらから言っていただけませんか。</p>	

南芦屋浜地区小学校建設に係る市民意見交換会 質疑応答要旨

【日時】H27. 2. 5(木) 19:00~20:40 【場所】芦屋浜センタービル3階大会議室

参加人数80人(内訳 : 住民 71人, 市議会議員 8人, 記者 1人)

No.	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
24	<p>10数年後、統廃合は絶対しないという市の決意を述べておられたわけですが、単学級になった場合に、旧市街地では単学級にはならない。そうしますと、旧市街地から、何で南芦屋浜や芦屋浜の学校は単学級でも小学校あるのだという圧力がかかってくるのではないかと、発言があったかと思えます。</p> <p>そのお話を聞いておまして、今、パイプラインについて、市が、コスト論で清掃車で集めているところに比べて2倍も3倍もするので廃止だということを市がやっておられます。このパイプラインは、市や県、国が、未来都市で率先してつくったわけです。ところが、35年たったらコスト論で旧市街地からの圧力というのか、それでやめようとする。きょうの会と関係しませんが、そういう姿勢、態度は改めてほしいなと思います。</p> <p>パイプラインについては、これまでの歴史的経過から言って、市民がつくってくれと言ったのではなくて、役所が率先して、未来都市ということでつくられたわけですから、コスト論ではなくて、これは存続でぜひお願いしたいと思います。</p>	<p>パイプラインにつきましては、今、芦屋市の内部でいろいろ協議を進めているところで、まだ結論も出ておりませんし、いつ廃止するかという時期も明確になっておりません。</p>
25	<p>まちづくり、学校も大切ですが、今すぐ芦屋浜と南芦屋浜ですべきことは、例えば今、南芦屋浜には郵便局がありません。お年寄りの方などはわざわざ芦屋浜まで来て、非常に苦勞されております。だから例えば市は土地を買って、特定郵便局かあるいは簡易郵便局かわかりませんが、土地とか局舎を提供して引っ張ってくる構えが大事ではないかと思えます。</p>	<p>郵便局につきましては、常々聞いておりますし、市としましては南芦屋浜の郵便局の設置については引き続き努力してまいります。ただ、今まで郵便局と話をしていますが、人口の定着が少ないことが1つの課題になっております。小学校もできれば人口もふえてくるでしょうし、そういうことでまちを活性化していきたいと思っています。</p>
26	<p>認定こども園が浜風幼稚園跡にもできますし、今、問題になっております南芦屋浜の小学校の隣にも認定こども園をつくらうとしております。公立であれば、その意思があればすぐつくれますが、民間ですから誘致して引っ張ってこないといけないのです。だから、もうかるかもわからないかによって来るか来ないかわからないあやふやなものです。この点についても市が音頭をとって、確実に引っ張ってくるというのがまちづくりです。その観点はこのに住んでいる市民に明らかにすべきだと思います。</p>	<p>認定こども園につきましては、南芦屋浜に市として誘致するように努力はいたします。ただ、今のところは、市がやるのか、企業庁でやるのか、そこはまだはっきりしておりませんので、今後の話になるかと思えます。</p>

南芦屋浜地区小学校建設に係る市民意見交換会 質疑応答要旨

【日時】H27. 2. 5(木) 19:00~20:40 【場所】芦屋浜センタービル3階大会議室

参加人数80人(内訳 : 住民 71人, 市議会議員 8人, 記者 1人)

No.	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
27	<p>きょうは小学校を新設するに当たってというお話ですが、浜風幼稚園の話の時からいつも思っているのですが、未来都市シーサイドタウンって今、現実どうですか。皆さん、苦笑されています。あまり人口の入れかわりがなく、高齢化が進んでいて、芦屋市全体で、このまちを、どう若い人に入ってきてもらって、どう住みやすいまちにして、特にその目玉だったら、幼稚園、小学校、保育所、中学校、そういう教育問題も大きな問題だと思います。</p> <p>その話がなくて、小さなことだけの話をしています。</p> <p>私がきょう特に言いたかったのは、例えば東日本大震災があった後に、企業庁からも、この用地のこの場所を変えましょうかとか、芦屋市が、こんな端っこにあったら危ないよ、もうちょっと真ん中とか北に土地がないのかという発想を誰もしていただけなかったのですか。私はずっとここに住んでいくつもりでいますが、そういう思いで見ると、このまちをどうつくっていききたいのかというのが、すごく見えにくい感じがします。</p> <p>こういうお話を聞いてくださるのはありがたいと思いますが、大体形式的に1回したら終わりですよ。地域でもう少し細かい会議というか話をしていただきたいと思います。それは別に市がやらなくとも、例えば市議会議員さんの相談会、懇談会みたいな感じでもいいですし、小学校のコミスクでの話し合いでもいいと思いますが、もうちょっとその辺りは頑張ってくださいたいです。</p>	
28	<p>東灘区では市バスを使って小さな子どもたちが、小学校まで行っている子たち、帰ってきている子たちもいます。コミュニティバスというか、そういうバスの便宜を図ってやるのも、すぐ解決できる問題でないのかなと思いますが。</p>	
29	<p>小学校や幼稚園のお母さん方が、この時間帯では来ることができず意見を言うことができないというお声を多く聞いてきましたので、もう一回ぐらい意見を聞いてあげる会を持ってあげていただきたいと思います。</p>	<p>今、この場でお答えできませんが、教育委員会とお話をさせていただいて、また周知させていただきます。</p>

南芦屋浜地区小学校建設に係る市民意見交換会 質疑応答要旨

【日時】H27. 2. 5(木) 19:00~20:40 【場所】芦屋浜センタービル3階大会議室

参加人数80人(内訳 : 住民 71人, 市議会議員 8人, 記者 1人)

No.	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
30	<p>検討委員会の会議録が公示されました。これは1月22日に行われました民生文教常任委員会内で、議員さんからの請求によって開示されたものです。検討委員会の中では、新設の機は既に逸している。巨額な費用を使うのはどうなのかという慎重論が大多数でありました。その中のメンバーは、こちらに何人もいらっしゃいます。10人で構成されている、行政の中での組織で構成されたものです。</p> <p>その内容は、11月に上げられた報告書では、建設するとなっているのです。この8回の会議録を読んだ中では、どうやって賛成に転じたのかが見えませんが、それは開示していただけないものでしょうか。</p> <p>民生文教常任委員会を傍聴させていただきましたけれども、管理部長は、単学級になっても3校を維持したいという思いを語っていただきましたが、私たち市民にとっては、とても心強いお言葉いただいたと思っています。冒頭市長からも、統廃合ありませんという発言がありました。なぜ私はこんなに不安なのだろうかといういろいろ考えてみました。</p> <p>民生文教常任委員会の中で管理部長がおっしゃったことに対して、この財政難であって、その3校を維持することが本当にできるのかと、議員さんからも大多数の意見を出していただきました。それを聞いていて、市民も議員さんも同じ住民として、同じ疑問を持つのだなとすごく安心をしました。それに対して、学校教育部長が、基準は本来どおりであると回答されています。その本来どおりとは何かというと、単学級複数年で統廃合をするスタンスは、今後も変わらないとおっしゃったわけです。</p> <p>同じ時間の中で、同じ空間の中で、同じ行政の人たちにこれだけのずれがある。それを傍聴していて、そのずれは一体どういうふうに修正されるのかと思っていました。2月2日の説明会、きょうの時間の中での発言を聞かせていただくと、3校維持でいくスタンスで突き進まれるのだなという印象を受けました。そのずれは一体どういうふうに修正されたのかを教えてください、芦屋市としてそれでいくのか、それとも今回の3校に対してはイレギュラーなのか、その辺をはっきり回答してほしいです。</p>	<p>検討委員会の中ではいろいろな意見が出ておりました。検討委員会の意見は、ホームページに検討委員会の報告書を上げさせていただいております。その中に意見を集約した表が添付してございますので、どのような意見があつて、それについてどうだというあたりも含めて一覧表にしていますので、そちらをごらんいただけたらと思います。</p> <p>検討委員会の報告書は1月23日からアップしており、ごらんいただけるようになっております。ただ、例えば検討委員会の報告書を本日お配りするという形をとりますと、なかなかそれを全部ごらんいただくのが難しいと思いますので、先にホームページに報告書を上げさせていただいております。この説明会の案内が出ておりますホームページ上に、ごらんいただける形で張りつけしております。事前にそれをごらんいただける形には一応しておりましたので、そのあたりは、そういうことも知っていただく必要があるということで、あらかじめそういう形でさせていただきました。</p> <p>検討委員会においては、いろいろな意見が出ましたが、建てる必要がないとかいったことも含めた意見もたくさん出ております。最終的に、先ほどからの繰り返しになりますが、そもそも南芦屋浜は、計画の世帯数が3,000世帯の、下方修正されましたが、8,000人という人口世帯規模がございますので、当初から学校は必要であると判断しておりました。それも含めまして検討した結果であると思っただけだと思います。</p> <p>統廃合の基準の部分ですが、6学級以下になりましたら、文科省が出しております基準の手引きで言いますが、統廃合等については速やかに検討しないといけない、というふうになっておりますから、基準としては一応そういうことです。ただ、そうだからといって統廃合するということではありません。</p>
31	<p>2日の意見交換会で、住民から、隣接されるであろう認定こども園を公立にしてほしいという要望に対して、芦屋市のお金をできるだけ使いたくないので、私立を誘致するという回答をこども・健康部長がされています。それほど財政難と話しておいて、3校維持と言われても説得力がないです。巨額な金額を、負債を抱えるわけですが、その金額を未来の子どもたちが背負うことは必然です。芦屋市として、お金をかけた後の財政政策をどういうふうにするのかを、今、決められている具体的な説明をお願いします。</p>	

南芦屋浜地区小学校建設に係る市民意見交換会 質疑応答要旨

【日時】H27. 2. 5(木) 19:00~20:40 【場所】芦屋浜センタービル3階大会議室

参加人数80人(内訳 : 住民 71人, 市議会議員 8人, 記者 1人)

No.	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
32	<p>きょうの意見交換会で最後とは思っていません。3月末に企業庁に回答しなければいけないと聞いています。きょうは2月に入っています。3月末までの1カ月半の間に、こんな大切なことをこの2回の意見交換会で全部集約をしたと思われるのは、ちょっと困るのではないかなと思っています。一体この話にかかわる対象住民が何人いて、2回の意見交換会でどれだけの人たちの網羅できたのでしょうか。</p> <p>この説明会の案内についても、小学校に配付をしていただきまして、子どもが持って帰ってきました。対象は小学生の子どもを持っている人だけではありません。きょうのお知らせについても、議員さんをお願いをいたしまして、市の掲示板に張っていただくことができました、少しでも多くの人に知っていただいたのかなと思っています。</p> <p>議員さんもそうですが、住民の意見をもう少し十分に、パフォーマンスだけではなく、本当に真摯に向き合う態度をわかるように示していただけたらと思うので、ぜひとも、浜風小学校の体育館で開催していただけないでしょうか。</p>	
33	<p>今、潰さないという確約、誰ができますか。</p> <p>日本建築学会では、最低小学校維持には1万人の人口要るのです。足りませんよ。</p> <p>建てなくても、浜風小学校で教室が余っているならば、分散するなり考えたらいいですよね。できるだけお金を使わないように考えたらいいですよね。何で使わないとだめなのですか。</p>	<p>未来永劫に残すとか、100年、200年、それは本当に無責任な言い方だと思います。私が考えているのは、潮見小学校は昭和54年にできました。浜風小学校は昭和57年です。仮に平成31年に建てるとするならば、そのときは、潮見小学校は築40年になります。</p> <p>やはり地域の皆さんとともに一緒になって考えていかなければならないのは、1つの目安としまして、潮見小学校の建てかえ、これは目に見えているのです。</p> <p>20年たてば、建造物が60年。そのときが1つの目安です。そのとき、急に20年たったから考えましようではなくて、その前から、教育委員会が皆さんと一緒に、このまちを、子どもをふやすよりも減らさない町にしましょう。そのために市の施策、教育委員会も、そういう意味で学校はそれまで絶対潰しませんよと、皆さん一緒に住んでくださいと。</p> <p>そして、健康フェスタにしても、浜風どんと祭にしても、素晴らしいものを地域が多くやってくださっています。そういうことに非常に感謝する中で、子育てしやすいまちにしましょう。10月から潮見中学校で学校給食も始まります。そういう意味において、教育委員会が先行して皆さんに言うのではなくて、皆さんとともに一緒になって考えましょう。</p> <p>南芦屋浜に学校ができると仮定するならば平成31年からの20年。これは建物もありますし、小学校は義務教育ですので、県費負担職員と言いつつ全部県の負担の職員がいます。市の先生も、芦屋はいろんな意味で加配をしていますけど、メインは県の負担になります。8月の教育委員会で申し上げたのですが、潰すとかつくらないではなくて、どうすれば学校ができるのだろうかという視点に立って考えてきました。</p> <p>そういう意味において、今、申し上げられるのは、学校のあり方を、当然、打出浜小学校も昭和57年ですから、建てて10年経てば、残り10年ですから、そのときから助走でいろんな知恵を出しているのではないのでしょうかということ10という数字が出たと私は思っております。</p>
34	<p>10数年でこういう見込みがあるのに、なぜしないといけないのですか。今、浜風が少ないのであれば、浜風を先に建てかえたらいいのではないですか。</p> <p>民間人の感覚では不思議なことが多々あります。</p>	